

点滴製剤・試薬のご案内

各製剤（試薬）の詳細はこちらから ▶



ビタミンC

Ascorbic Acid Injection

マイラン

高濃度ビタミンC点滴（10g以上）には、防腐剤の入っていない安全なビタミンC製剤が必要です。国産の製剤は、防腐剤が入っているため適しません。また、ビタミンCは温度変化によって不安定になるため、製造工場からクリニックまで2~8℃の冷蔵保管が義務づけられています。当会では、冷蔵空輸にて日本に出荷される安全なマイランのビタミンC製剤を推奨しています。 ※輸入代行：VC受注代行センター

グルタチオン

台湾製グルタチオン

TAI YU CHEMICAL & PHARMACEUTICAL

昨年、国産グルタチオン製剤の流通が制限されている状況から、安全な日本製原料を使用した台湾製グルタチオン製剤をご紹介します。製薬会社である、TAI YU CHEMICAL & PHARMACEUTICAL社製のグルタチオン製剤は、台湾で薬として国に認可されています。

※輸入代行：AOB MEDICAL 社 ※ご購入は、AOB MEDICAL のウェブサイトより、会員登録（無料）が必要です。

NMN

完全β-NMN

一般社団法人
NMN 医療研究会

NMNには、分子構造の異なるα-NMNとβ-NMNの2種類が存在し、人体で生成され、有益な効果を持つのはβ-NMNのみとされています。当社がとりあつかっているのNMN製剤は、完全殺菌環境を作り出すために製造毎にオゾンガスを使用した殺菌を行い、粉塵・細菌が存在しない環境で製造し、保存液も一切使用していない純粋なβ-NMN製剤です。

※試薬での提供

NAD+

NAD+ Injection

NAD CLINIC

ニコチンアミドアデニンジヌクレオチド（NAD+）は、抗老化において主要な重要性を持つとされており、これまでにコネキシン43（様々な組織）およびP2X7ゲートドチャネル（神経細胞）を介して細胞内に直接入ることが示されており、点滴でNAD+直接補充しNAD+レベルを上げていくことでエネルギーの増加や代謝改善、認知機能向上、長寿やアンチエイジングなど効果として期待されています。

※試薬での提供

エクソソーム

M2P-Exosome™

AZACLI

エクソソームに内包されている無数のマイクロRNAによる細胞老化の修復や慢性疾患等のリスク低減について、大学等研究機関で研究が進んでいます。

M2Pエクソソームは、通常の脂肪由来幹細胞の5,000個に1つのエリート幹細胞のみをセレクトし、それを培養することで抽出します。エリート幹細胞は若く、増殖速度も非常に速いのが特徴で、抗老化に特化したハイスベックなエクソソームといえます。

※試薬での提供

エクソソーム

エクソソーム培養液 プレミアム
エクソソーム培養上清液

医道メディカル

東京大学分子定量研究所および順天堂大学医学部との医療連携のもと、国内では稀有のMISEV基準に準拠した臍帯WJ由来エクソソームを提供。標準化された品質管理、効果の最大化、臨床応用のプロトコル作成、これらに透明性と再現性の確保を実現しています。

※試薬での提供

エクソソーム

高濃度 Re:Right-CELL /
高純度 Re:Right-CELL “培養上清液 - 歯髄由来 -”

ステムセルテック

医師や関連団体と協力し、培養上清治療の安全普及を目的とした【国際次世代再生医療研究会】を設立し、培養上清治療の臨床結果を収集して、患者様が安心して最適な治療の選択ができる環境を提供するべく、活動を行っています。また、厳格な品質管理のもとで製品を生産し、可能な限り多くの患者様にアクセス可能な価格で製品を提供。美容、アンチエイジング、歯科、医科など幅広い分野で期待されている製品です。

※試薬での提供

会報誌の内容、テキスト、画像等の無断転載・無断使用を固く禁じます。

【発行元】点滴療法研究会 【発行月】2025.1

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-23-13 アルカイルビル4F / Tel: 03-6277-3318 / E-mail: info@iv-therapy.jp

NEW AGE MEDICINE



2025
01
vol.16

Japanese College of Intravenous Therapy



点滴療法研究会

2024年 年次活動報告 点滴・栄養療法 症例報告

高濃度ビタミンC点滴
腎機能低下症例におけるVC投与量について

点滴療法研究会マスターズクラブ 副会長/鎌倉元氣クリニック 院長 松村 浩道先生

オーソモレキュラー治療により改善を得た
超高齢者の難治性重度褥瘡の一例

汐入ばくクリニック 院長 新井正晃先生

米国抗加齢医学会(A4M) 総会参加レポート

点滴療法研究会マスターズクラブ 副会長/鎌倉元氣クリニック 院長 松村 浩道先生

点滴療法研究会マスターズクラブ副会長/森永歯科医院 院長 森永 宏喜先生

2025年セミナー年間予定 会員サービス紹介

CONTENTS

03 / ご挨拶

04 / 点滴療法研究会 2024年活動報告

ボードメンバー紹介
2024年 国内活動
2024年 海外活動

12 / 点滴・栄養療法 医学情報

高濃度ビタミンC点滴・腎機能低下症例におけるVC投与量について
点滴療法研究会マスターズクラブ副会長 /
鎌倉元氣クリニック 院長 松村 浩道先生
オーソモレキュラー治療により改善を得た超高齢者の難治性重度褥瘡の一例
汐入ばくクリニック院長 新井 正晃先生

16 / 最新海外情報

米国抗加齢医学会 (A4M) 2024 総会 参加レポート
点滴療法研究会マスターズクラブ副会長 /
鎌倉元氣クリニック 院長 松村 浩道先生
森永歯科医院 院長 森永 宏喜先生

20 / 点滴療法研究会からのご案内

認定医制度
点滴療法導入から定着への3つのステップ
会員サービス紹介
動画サイト
点滴療法研究会コラム

28 / 2025年セミナー年間予定

30 / 協賛企業のご紹介

点滴療法研究会とは

点滴療法研究会マスターズクラブとは、最新のエビデンスに基づいた点滴療法を提供する医師・歯科医師・獣医師を会員とするグループです。会員は患者様が安全に治療を受けられるよう常に技術を磨いています。

最新知見の
収集

学びの提供

安全で効果的な
点滴療法を日本の医療の
スタンダードに

会員ネットワーク
構築

一般認知
拡大

The Japanese College of Intravenous Therapy

点滴療法研究会 2024年活動報告



ご挨拶



会長
柳澤 厚生
Atsuo Yanagisawa MD, FJCI
点滴療法研究会マスターズクラブ 会長

2025年は時代を
先取りする点滴療法
の進化で新たなステージへ

点滴療法研究会は、会員数1,100名を超える日本の統合医療を牽引する団体へと成長しました。これは皆様のご支援のおかげであり、心より感謝申し上げます。

昨年、7年ぶりとなる「リオルダンIVCアカデミー」を日本開催できたことは大きな喜びでした。このアカデミーは、リオルダンクリニック主催で、高濃度ビタミンC点滴療法の世界的権威であるロナルド・ハニハイキ先生とトーマス・レヴィ先生を迎え、時代を先取りした貴重な知見を共有する機会となりました。

今年はさらに飛躍し、点滴療法をはじめとする統合医療の新たな可能性を追求し、より多くの情報と革新的な知見をお届けできるよう努めます。引き続き「リベラルメディスン」の理念を掲げ、自由闊達な研究会として、会員皆様と共に前進していく所存です。

2025年は巳年で、「知恵」「成長」「変化」の象徴とされており、私たちが時代の変化を糧に進化し、皆様と共に輝かしい未来に向けて邁進します。本年も変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



事務局長
上符 正志
Masashi Uwabu MD
銀座上符メディカルクリニック 院長

AI時代の到来と医療の進化
予防医学と健康寿命延伸への挑戦

新年あけましておめでとうございます。2025年が皆様にとって、さらなる飛躍の年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

今年は、ドナルド・トランプ氏が再び米国大統領に就任し、世界情勢が大きく動く年となるでしょう。また、AI(人工知能)の研究がノーベル賞を受賞するなど、科学技術の進展は目覚ましく、私たち医師にとっても新たな可能性を広げています。AI技術の進化は、予防医学や抗加齢治療においても大きな影響を与え、個々の患者様に最適な検査、治療法を提供する時代が到来しています。我々点滴療法研究会は、このような科学的進歩を積極的に取り入れ、健康寿命の延伸に向けた取り組みを一層強化してまいります。

先生方と共に、新しい治療法の発見や実践に挑戦し、患者様の生活の質向上に貢献できることを期待しております。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

BOARD MEMBER

国内

 事務局長 上符 正志 銀座上符メディカル クリニック 院長	 副会長 松村 浩道 鎌倉元氣クリニック 院長	 副会長 森永 宏喜 森永歯科医院 院長	 名誉顧問 阿部 博幸 東京キャンサークリニック 理事長	 名誉顧問 森 吉臣 東京予防医療クリニック 理事長	 名誉顧問 水上 治 健康増進クリニック 院長
 名誉顧問 芝田 乃丞 株式会社スピック 前会長	 澤登 雅一 三番町こぎけん クリニック 院長	 古山 登隆 自由が丘クリニック 理事長	 高島 正広 高島クリニック Q.O.L.研究所 - QUALITY OF LIFE INSTITUTE - 院長	 平良 茂 ハートフルクリニック 院長	 日比野 佐和子 SAWAKO CLINIC xYS 統括院長
 菅野 渉平 IVC分析センター 指導監督医	 田中 善 田中クリニック 理事長・院長	 喜多村 邦弘 喜多村クリニック 院長	 廣田 順子 アリスどうぶつクリニック・どうぶつ 統合医療センター 院長	 姫野 友美 ひめのともみクリニック 理事長	

海外

 イリエス・バグリ (アルジェリア) 国際オーソモレキュラー 医学会会長	 アイリーン・パーフォード=メイソン (カナダ) 元トロント総合病院コンナッハ 頭頸がん研究所部長	 スティーブ・カーター (カナダ) 国際オーソモレキュラー 医学会事務局長	 ダミアン・ダウニング (イギリス) 英国環境生物医学会 会長	 ジェームズ・グリーンブラット (アメリカ) ウォルデン行動医療病院 摂食障害部門部長	 ロナルド・ハニハイキ (アメリカ) リオルダン・クリニック 所長
 スティーブ・ヘックナー (イギリス) オーソモレキュラー 医学会編集委員	 ジョン・ホフファー (カナダ) マギル大学 内科教授	 トーマス・レヴィ (アメリカ) リオルダンクリニック・ コンサルタント	 劉 輝雄 (台湾) インベリアルクリニック 院長	 ロベルト・オルティス (メキシコ) メキシコオーソモレキュラー 医学会会長	 ニール・リオルダン (アメリカ) ステムセル研究所 所長
 ガート・E・シュートメーカー (オランダ) 前・国際オーソモレキュラー 医学会会長 医学雑誌ORTHO 編集長	 フランク・シャレンバーガー (アメリカ) 米国オゾン療法学会 会長	 ウェルマン・シュレーダー (アメリカ) サンタフェアレギー 環境医療センター所長	 ブラッドフォード・ウィークス (アメリカ) ウィークス・クリニック 院長		

2024年国内活動

2024

- 1月 28日 東京 新春ワークショップ
「現場から学ぶ点滴療法の技 2024」
- 2月 25日 東京 ベーシックセミナー I
- 3月 17日 東京 春の特別セミナー
「～明日から臨床現場に導入できる～ 最強のアンチエイジング医学」
- 4月 21日 福岡 ベーシックセミナー I / 九州フォーラム
- 5月 26日 東京 ベーシックセミナー II
- 6月 9日 神奈川 点滴療法の基本実技講習会 (入門編)
「もうはずさない! 血管確保の実際」
- 16日 東京 歯科診療で導入したい点滴療法・栄養療法
- 7月 7日 東京 スペシャル ベーシックセミナー I
- 28日 WEB 【会員限定】キレーション療法認定医
講習会 / 試験
- 8月 25日 WEB 【会員限定】オゾン療法認定医講習会 / 試験
- 9月 29日 東京 秋の特別セミナー
「リオルダン IVC アカデミー 2024」
- 10月 13日 東京 ベーシックセミナー I
- 14日 東京 ベーシックセミナー II
- 11月 17日 東京 歯科診療で導入したい点滴療法・栄養療法
- 12月 1日 神奈川 点滴療法の基本実技講習会 (入門編)
「もうはずさない! 血管確保の実際」
- 8日 東京 【会員限定】高濃度ビタミンC 点滴療法
認定医講習会 / 試験
- 通年 WEB どうぶつへの点滴療法・栄養療法を臨床から学ぶ



▲新春ワークショップ先生方と



▲春の特別セミナー



▲九州フォーラム



▲スペシャルベーシックセミナー I
特別講師: 京都府立医科大学大学院 教授
内藤 裕二先生 (写真中央左)



▲リオルダン IVC アカデミー 2024
特別講師: ロナルド・ハニハイキ先生 (写真中央)
トーマス・レヴィ先生 (写真右)



▲実技講習会の様子

◀ 歯科セミナーの講師陣



国内活動報告

2024年度は、会場開催およびWEB開催で、年間19回のセミナーを開催いたしました。

▶ 1月 点滴療法研究会 新春ワークショップセミナー 現場から学ぶ点滴療法の“技”

最先端の点滴療法をテーマに、月経血幹細胞や幹細胞上清液(骨髄・歯髄・脂肪)の臨床応用、NAD+/NMN点滴療法の実際、動物への高濃度ビタミンCやマイヤーズカクテル、水素ガスの活用など、健康増進や治療効果の向上を目指す実践的な知識を提供する、とても有意義なセミナーとなりました。

3年ぶりに開催された新年会は、ボードメンバーの先生方や参加者の皆様とともに大いに盛り上がり、新しい一年に向けて心を一にする貴重な時間となりました。



▲上左から、伊沢先生、辻先生、松澤先生
下左から内藤先生、田中先生、宮川先生



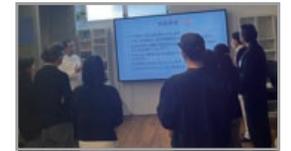
▶ 6月・12月 基本実技講習会(入門編)

鎌倉のクリニックにて、人気の「基本実技講習会(入門編)」を年2回開催いたしました。通常の座学のセミナーとは異なり、8名限定での開催です。

実際に参加者同士で血管確保の練習を行い、点滴製剤の作り方から穿刺までポイントとコツも学べる充実の内容です。これから点滴療法を導入される先生はもちろんのこと、既に点滴療法を実践されている先生にも、とても人気の講習会です。



▲講習会の様子▶



▶ 3月 春の特別セミナー 「最強のアンチエイジング医学」～導入と実践～

アンチエイジングで重要なミトコンドリア機能改善、NMN点滴とNAD+点滴の臨床応用をはじめ、幹細胞培養上清療法の導入と実践法や、ヒト臍帯ウオートンジェリー幹細胞由来エクソソームの活用、エクソソームを用いた最先端医療の革命的進展など、非常に幅広く充実した内容を各分野のエキスパートである5名の先生方にご講演いただきました。参加者は100名以上、展示ブースも23社と大盛況のセミナーとなりました。



▲左から、野村先生、青木先生、姫野先生、柳澤会長、田中先生、陰山先生、森永副会長、松村副会長

基調講演

東京医科大学医学総合研究所
未来医療研究センター
分子細胞治療研究部門
特任教授
落谷 孝広先生

▶ 7月 スペシャルベーシックセミナー

通常のベーシックセミナーⅠの内容に加え、基調講演として特別講師に京都府立医科大学大学院教授の内藤裕二先生をお迎えし、すべての人の健康を腸から目指す「ガットフレイル:その概念と腸からのWell-being」についてご講演いただきました。

3大点滴療法のアップデートや点滴手技動画、ランチオンセミナーなど盛り沢山の内容で開催したセミナーは、約100名の先生方にご参加いただきました。



<特別講師>
京都府立医科大学大学院
教授
内藤 裕二先生



▲左から、柳澤会長、内藤先生、海外ボードメンバーの劉先生、松村副会長、森永副会長

▶ 4月 九州フォーラム

九州フォーラムを福岡にて開催しました。行動制限がなくなった久々の九州フォーラム。60名の先生にご参加いただきました。

柳澤会長および九州地方の点滴療法研究会会員の先生を中心に、5名の医師・歯科医師による講演と情報交換を行いました。がん治療からアンチエイジング、歯科診療への点滴療法、自院の取り組みなど、実践的なテーマを詳しく学ぶ充実したフォーラムになりました。



▲左から、喜多村先生、青木先生、柳澤会長、赤木先生、友枝先生、伊藤先生、森永副会長



＼Revival／

▶ 7月 フォローアップセミナー

点滴療法を自院にスムーズに導入、活用できることを目的としたフォローアップセミナーを3年ぶりに開催しました。

明日からすぐに活用できる実践的なノウハウと、疑問や不安を一つひとつ解決する内容が盛り込まれ、とても有意義なセミナーとなりました。また、参加者同士の意見交換やディスカッションも活発に交わされました。



◀講師の柳澤会長



国内活動報告

▶ 9月 リオルダンIVCアカデミー 2024

ビタミンC点滴療法の基本から最新情報までを学べる『リオルダンIVCアカデミー』が、日本で開催されました。かつて世界各地で行われていたこのアカデミーは、新型コロナウイルスのパンデミックにより一時中断されていましたが、パンデミック後初の開催となりました。

7年ぶりの開催となる「リオルダンIVCアカデミーin Japan 2024」は、シティホール&ギャラリー五反田にて盛大に開催されました。講師として登壇したのは、高濃度ビタミンC点滴療法の世界的権威であるリオルダンクリニック所長のロナルド・ハニハイキ先生と、同クリニック特別顧問のトーマス・レヴィ先生です。

お二人は、ビタミンC点滴療法や予防医療の分野で世界的に高く評価されている医師であり、ご自身の豊富な臨床経験と研究成果をもとに、最新の治療法やエビデンスについて詳細に解説してくださいました。

ロナルド・ハニハイキ先生とトーマス・レヴィ先生による講演が、会場を大きな感動で包みました。レヴィ先生は、『毒素がすべての病気を引き起こす』というテーマで、予防医療と解毒の重要性を説き、ハニハイキ先生は、『がんの謎の解明』という壮大なテーマに挑み、がんを“癒えない傷”として捉え、その本質に迫る革新的な視点を共有しました。

お二人の講演はまさに衝撃的で、とても有意義で基調的な学びとなりました。



▲左から、柳澤会長、ハニハイキ先生、レヴィ先生



▲ハニハイキ先生とレヴィ先生を囲んで

他学会出展

▶ 2024年 6つの学会に出展しました。

- 6月 第33回 日本プラセンタ医学会大会
- 6月 第7回 日本先制臨床医学会学術大会
- 8月・9月 第42回 日本美容皮膚科学会総会
- 8月・9月 日本アンチエイジング歯科学会 第18回学術大会
- 9月 国際栄養医学シンポジウム2024
- 12月 第1回日本美容内科学会総会



点滴療法研究会マスターズクラブ会員の先生が各分野の学会でご活躍されました。

海外活動報告

2024

多くの海外の学会が開催され、点滴療法研究会は、様々な情報発信・情報収集を行いました。

1月

台湾

1月7日 台湾抗加齢栄養医学研究会設立 プレ発表会

台北の日本元氣診所のチャールズ院長が志を一つにする仲間と「台湾抗加齢栄養医学研究会」F.L.A.M.E. (For Longevity and Anti-aging Medicine Ecosystem)を設立するプレ発表会が開催されました。この組織は、実践的なエコシステムを通じて健康を積極的に増進し病気を遠ざける重要性を広め、地域社会全体の健康意識を向上させることを目的に、主に臨床の現場に携わる医師を対象として設立されました。点滴療法研究会は今後、台湾抗加齢栄養医学研究会と姉妹団体の提携を結び、交流を図っていきます。新しいリーダーの誕生と素晴らしい会の設立を祝福し、当会会長の柳澤厚生先生がご登壇されました。



4月

台湾

4月21日 台湾抗加齢栄養医学研究会設立記念ワークショップ

記念すべき設立式・ワークショップに点滴療法研究会副会長の松村浩道先生がご登壇され、高濃度ビタミンC点滴療法についてのご講演をされました。



5月

アメリカ合衆国

第53回国際オーソモレキュラー医学会総会

2024年5月17日から19日の3日間、アメリカ・アリゾナ州スコッツデール市のダブルツリー・パラダイスバレーホテルで、第53回国際オーソモレキュラー医学会総会 (ISOM) と第15回アメリカ先端実践医療カンファレンス (AAMP) が合同開催されました。



学会のテーマは、自閉症、小児多動症、神経炎症疾患、小児急性発症神経精神症候群などの精神神経疾患における多様性でした。各講演では、これらの神経疾患を単一の問題として捉えず、遺伝、代謝、栄養、毒物など多角的な観点から診断・治療するという新しいアプローチが紹介されました。

恒例の国際オーソモレキュラー医学会名誉の殿堂入りは AAMP 会長のポール・アンダーソン先生です。アンダーソン先生は複雑な感染症、慢性疾患、および腫瘍性疾患が専門の臨床医で、特に高濃度ビタミンC点滴療法によるがん治療では、米国立衛生研究所 (NIH) の介入研究試験の責任者を務めました。



海外活動報告

2024

8月

台湾

8月25日 台湾抗加齢栄養医学研究会 IVC認定医講習会・認定医試験
 台北市で当会会長の柳澤会長、松村副会長、台湾抗加齢栄養医学研究会の会長、チャールズ医師による高濃度ビタミンC点滴療法認定医講習を行いました。その結果、台湾で初の認定医が誕生しました。



10月

台湾

10月6日 台湾抗加齢栄養医学研究会 リオルダンIVCアカデミー in台湾
 リオルダンIVCアカデミーは、コロナのパンデミックで国際ツアーを休止していましたが、9月にロナルド・ハニハイキ先生とトーマス・レヴィ先生をお迎えし、東京で再開しました。引き続き、台湾に移動し、10月6日に姉妹団体である抗加齢栄養医学研究会が主催して台北市でリオルダンIVCアカデミーが開催されました。台湾の医師らは熱心に講義に参加し、積極的に質問をして、熱い1日を終わりました。



12月

アメリカ合衆国

第32回米国抗加齢医学会 (A4M) 総会

12月13日～3日間、アメリカ合衆国ネバダ州のラスベガスにて世界最大のアンチエイジング医学、米国抗加齢医学会 (A4M) 総会に当会会長の柳澤会長、上符事務局長、松村浩道副会長、森永宏喜副会長をはじめ当会会員の先生方がご参加され、最先端のアンチエイジング医学を学ばれました。

A4Mの全体のテーマは「Longevity Fest」。健康長寿に関する様々なトピックの講演が100講演以上も用意されていました。その中で特に注目を集めたのは、世界的ベストセラー『Life Span』の著者であり、ハーバード大学教授でもあるデビッド・A・シンクレア博士の講演でした。収容人数が約2,000人の巨大な会場には、多くの参加者が詰めかけました。

参加者数は延べ約20,000名、400社以上の企業が出展し、また多数の催しも開催され、盛大に行われた総会の様子は後述にてご紹介させていただきます。2025年は12月12日～15日に開催予定です。



▲A4M創設者ロバート・ゴールドマン氏

▲ハニハイキ先生とレヴィ先生

▲会員の先生方と



AOB MEDICAL

取り扱い製剤のご紹介

広告

1バイアル
含有料
600
mg



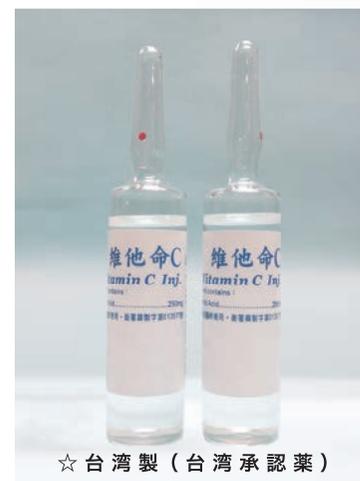
Glutathione(GSH) グルタチオン製剤

- 成分量** 1アンプルのグルタチオン成分量は600mg
※通常の約3倍の含有量
- 形状・容量** フリーズドライタイプ・1箱10本入り
- 保存** 未開封で3年間/常温・暗所保存



↑商品詳細はこちら
からご確認ください

☆台湾製(日本製原料)台湾承認薬



ビタミンC注射液(5g)

- 成分量** AOB MEDICALのビタミンC注射液はアスコルビン酸(ビタミンC)成分量が1アンプル5gです
- 形状・容量** 1アンプル20ml・1箱50本入り
- 保存** 未開封で1.5年間
常温・暗所保存



↑商品詳細はこちら
からご確認ください

☆台湾製(台湾承認薬)

AOB Stem Cell 幹細胞培養上清(浄化濃縮)

- 成分量** 1アンプル(2ml)
※サイトカインHGF含有量は120,000pg
- 形状・容量** フリーズドライタイプ・1箱10本入り
- 保存** 未開封で3年間/冷蔵保存



↑商品詳細はこちら
からご確認ください

☆日本製:製造・出荷までをすべて大学の研究所内で一元管理、ドナーはすべて健康な日本人女性

転載不可 (当社の研究・教育を目的としたものです)

日本正規代理店

AOB MEDICAL

株式会社AOBメディカル

〒104-0061 東京都中央区銀座7-4-15 RBM銀座ビル9F

TEL 03-6427-7785 <https://aob-m.com>

高濃度ビタミンC点滴 腎機能低下症例におけるVC投与量について



点滴療法研究会マスターズクラブ 副会長
鎌倉元氣クリニック 院長

松村 浩道 先生

【略歴】

日本医科大学卒業。同大学付属病院麻酔科学教室、関東通信病院(現NTT東日本関東病院)ペインクリニック科、医療法人誠之会氏家病院麻酔科・精神科等を経て2017年10月よりスピッククリニック(鎌倉元氣クリニック)院長。全人的な医療を志す過程で東洋医学、精神医学、温泉医学、オーソモレキュラー医学や補完代替医療の研鑽を深め、現在は心身相関・腸内環境を重視した包括的診療を行うほか、産業界としてストレスマネジメントや予防医療にも力を注いでいる。

【資格・役職】

ペインクリニック専門医・認定産業界・温泉療法医、日本医療・環境オゾン学会副会長・同臨床研究部会長、点滴療法研究会ボードメンバー、米国ストレス研究所日本支部代表、一般社団法人日本レジリエンス医学研究所代表理事、一般社団法人メンタルウェルネストレーニング協会顧問

【著作】

「対人関係のイライラは医学的に9割解消できる」(マイナビ新書)、「脳腸相関で未病を征す」(七星出版)

はじめに

高濃度ビタミンC点滴療法(IVC)は、正しく実施する限りにおいて非常に安全性の高い治療法ですが、時に慎重な対応が求められるケースがあります。IVCに限った話ではありませんが、例えば腎排泄性薬剤は腎機能低下に伴って血中濃度半減期の延長が認められます。VCも腎排泄性ですので、腎機能低下症例に対して通常量を投与すると血中濃度の上昇により過大な薬物効果の出現や副作用発現リスクが高まる可能性があるため、**腎機能低下の度合いに応じて減量を検討する必要があります。**

本稿では腎機能低下症例に対するビタミンC、特にがん治療を目的としたIVCにおけるビタミンC投与量について、基本的な考え方をご紹介します。

厳密なプロトコルは存在しない

実は、腎機能低下症例に対するビタミンC点滴の安全性に関しては十分なデータがなく、プロトコルも存在しないのが現状です。心不全の場合と同様に、腎機能障害の場合にも毎日の体重を患者さんご自身に測定・記録していただき、経時的な体重増加傾向があるかどうか、あるいは下肢の浮腫の有無や程度などについて診察時に評価するのが望ましいです。これらを踏まえたうえで、従来の「腎機能に応じた薬剤投与量の設定方法」にならってビタミンC投与量について考察します。

補正係数を用いた投薬量の設定

一般的に、腎機能低下症例の投薬量設定には補正係数が利用されます。具体的には、通常投薬量に補正係数を掛けるか、あるいは投薬量は同じで投与間隔を(1/補正係数)倍に延長する方法が選択されますが、ここでは前者で検討します。補正係数の推定は、Giusti-Haytonの式により以下のように算出できます(文献1)。

$$\text{補正係数} = 1 - \text{尿中未変化体排泄率} \times (1 - \frac{\text{患者の腎機能}}{\text{健常者の腎機能}})$$

通常、健常者の腎機能は未測定でありCcr=100mL/minと設定されています。ここでCcrはGFRを想定しており、GFRが比較的大きい正常～

表1
慢性腎臓病(CKD)の重症度分類とIVC量

G1	(GFR > 90)	: 通常通り実施可 (75g)
G2	(90 > GFR > 60)	: 50g~62.5g
G3a	(60 > GFR > 45)	: 37.5g~50g

中等度腎機能障害患者では、通常GFRがクレアチニンの尿細管分泌クリアランスよりも十分大きいと見られるため、GFRをCCrで代替することは妥当であると考えられています。

さて、**ビタミンCを静注した場合の薬物動態を詳細に検討した研究(文献2)によると、「24時間のVC排泄率は健常者で投与量の99%、がん患者さんでは89%」**とされています。IVCを実施する対象が腎機能障害のあるがん患者さんの場合、慢性腎臓病(CKD)の重症度分類で用いられるeGFR: 45, 60, 90mL/min/体表面積にそれぞれ対応する補正係数とVC投与量を算出すると、eGFRが45 mL/min/体表面積の場合の補正係数は「 $1 - 0.89 \times (1 - 45/100) = 0.51$ 」となります。ここで(文献2)には「75gまでのIVCは一次速度則に則る」とありますから、本来使用したいIVC量を仮に75gとすれば、「 $75g \times 0.51 = 38.25g$ 」と算出されます。

同様に、eGFRが60mL/min/体表面積の場合の補正係数およびVC投与量はそれぞれ0.644、48.3g、eGFRが90mL/min/体表面積の場合の補正係数およびVC投与量はそれぞれ0.911、68.3gとなります。

以上より、**CKDの重症度分類と照らし合わせるとVC投与量は大きめに表1のように考えられます。**

【引用文献】

- 1)Giusti DL, Hayton WL. Dosage Regimen Adjustments in Renal Impairment. Drug Intelligence & Clinical Pharmacy. 1973;7(9):382-387.
- 2)Chen P, Reed G, et al. Pharmacokinetic Evaluation of Intravenous Vitamin C: A Classic Pharmacokinetic Study. Clin Pharmacokinet. 2022 Sep;61(9):1237-1249.

これらを参考に投与量の上限を予め大きめに決めておいて、その量でのIVC実施直後にVC血中濃度を測定し、有効血中濃度(3,500 μg/mL以上)に達していればその量でIVCを継続、達していない場合は臨床症状や治療経過を参考に慎重に増量を検討するという手順で行えば、臨床上的問題を起こすような事態はほぼ回避できると考えます。

注意点

前述したように、中等度腎機能低下症例ではGFRをCCrで代替できる一方で、GFRが高度に低下した腎機能高度障害例ではCCrに占めるクレアチニン尿細管分泌クリアランスの寄与度が無視できなくなるため、GFRの代替指標としてCCrを用いると薬物の腎クリアランス低下度を過小評価する傾向となることは念頭に置く必要があります。

また、体格が極端に小さい患者さんの場合は、以下のようにeGFR値を体表面積未補正のGFR(mL/min)へ変換して用います。

$$\text{体表面積 (m}^2\text{)} = \text{体重 (kg)} \times 0.425 \times \text{身長 (cm)} \times 0.725 \times 7184 \times 10^{-6} \text{ (デュポア式)}$$

$$\text{体表面積未補正 GFR (mL/min)} = \text{eGFR (mL/min/1.73 m}^2\text{)} \times \text{体表面積 / 1.73}$$

まとめ

以上のような手順に則れば、腎機能低下症例に対してもIVCを安全に実施できると考えます。もちろん、これはあくまでも原則的な考え方であり、臨床の現場では常に症状や治療経過を十分に観察し、リスクとベネフィットを十分に考慮した上で投与量を決定すべきです。拙稿が先生方の参考になりましたら幸いです。

ベーシックセミナー |

明日からの診療に活用できる
点滴療法を身につけませんか?

点滴療法研究会 実践セミナーのご案内

高濃度ビタミンC点滴療法を
学ぶことができるセミナー

オーソモレキュラー治療により改善を得た 超高齢者の難治性重度褥瘡の一例

筆者は10年来、在宅医療に携わっており、多くの症例にオーソモレキュラー医療を用いた治療を行ってきた。在宅医療の現場では介入当初から根治的な治療を断念しなければならない局面が多々あるが、そんな状況下でもオーソモレキュラー医療は患者の症状・病勢・QOLを大きく改善させるポテンシャルを備えている。今回、超高齢者の難治性重度褥瘡が、老衰死の直前まで改善した症例を経験したので、生理学的な考察を交えて報告する。

症例

92歳、女性、施設在住。ADLは車椅子。嗜銀顆粒性認知症疑い。易興奮性が強く、発語はジャーゴンで意思疎通困難。左下腿後面を車椅子のステップに頻回に打ち付けるため、同部にⅢ度の重度褥瘡を形成(写真1)。同時期に尿路感染の併発し、抗生剤点滴のため入院となったが、入院中に褥瘡が悪化。病院では閉鎖陰圧療法も行われたが、十分な改善が得られず、尿路感染が落ち着いた時点で施設に退院となった。

退院時、左下腿に複数の褥瘡形成を認める(写真2:入院前に創部の頭尾側方向に形成されていた皮下ポケットが拡大し、圧迫等の外因により皮膚欠損に至ったと考えられる)。血液検査結果(表1)からは、複数の分子栄養学的な問題が示唆され、これらに対して主に処方薬を用いてのオーソモレキュラー治療を行った(表2)。褥瘡の処置にはイソジンシュガーとフィブラストを使用。創部の慢性炎症に対しては抗生剤ミノサイクリンを投与。処置の際の疼痛緩和にはフェンタニルバツカル錠を使用。痛みで歯を食いしばり通常の鎮痛剤内服が困難であったが、歯肉と頬粘膜の間に挿入するバツカル錠ならば投与可能であった。

褥瘡の経過は緩慢ながらも改善傾向であったが(写真3)、focus不明の細菌感染の悪化のため再度入院。全身の衰弱が進行、経口摂取困難となり、1ヶ月後に在宅看取り前提で自宅退院となった。退院直後の褥瘡(写真4)は1ヶ月前と比較し明らかな創部の縮小と上皮化の進行が認め改善傾向であったが、この一週間後に老衰で死亡した。



写真1



写真2



写真3



写真4

表1

総蛋白 5.8 g/dL	血清鉄 68 μg/dL
アルブミン 3.4 g/dL	TIBC 169 μg/dL
Ca 7.6 mg/dL (補正 8.2)	フェリチン 230 ng/mL
K 3.5 → 2.2 mg/dL	亜鉛 49 μg/dL
Mg 2.6 mg/dL	ビタミン B12 482 pg/mL
AST 21 U/L	葉酸 3.2 ng/mL
ALT 12 U/L	
考察 : 低 Ca はビタミン D 欠乏 and/or 隠れた Mg 欠乏を示唆 低 K は隠れた Mg 欠乏を示唆 ALT 低値は、補酵素としてのビタミン B6 不足を示唆 B6 はタンパク代謝に関与、低タンパクの一因 TIBC 高値、フェリチン低値は慢性炎症を示唆	
問題点 : 低タンパク、低カルシウム、亜鉛欠乏、葉酸欠乏、 VitD 欠乏、マグネシウム欠乏、B6 不足、慢性炎症	

表2

酢酸亜鉛 50mg 1錠 総合ビタミン剤 2g (VitA 5000IU、VitD 400IU、VitB 群) アスパラギン酸カリウム散 50% 1.2g 水酸化マグネシウム懸濁液 7.2% 10mL ビタミンC・パントテン酸配合顆粒 4g (ビタミンC 1g) カルニチン配合経腸栄養剤 375mL (600kcal) ミノサイクリン錠 50mg 4錠 (4ヶ月間投与) フェンタニルバツカル錠 頓用 ニトラゼパム 5mg 1錠

表3

ビタミン A : 細胞分裂・分化 ビタミン B 群 : エネルギー産生、タンパク合成、精神安定 ビタミン C : 免疫強化、抗酸化、抗炎症、コラーゲン生成 (鉄と共同) ビタミン D : マクロファージ機能改善、疼痛の改善 亜鉛 : 細胞分裂、抗酸化、代謝全般の改善 マグネシウム : ATP 酸性、DNA 合成、代謝全般の改善、 血管拡張、筋緊張緩和、疼痛の改善 カルニチン : 脂質エネルギー代謝

考察

褥瘡治癒に関連する微量栄養は大まかに表に示した(表3)。マグネシウムは通常の血液検査では欠乏の評価が困難であるが、高血圧傾向・高血糖傾向・腱反射軽度亢進・ループ利尿剤使用歴などの臨床評価も参考とし、過剰にならないよう血中濃度をモニターしながら補充を継続した。ミノサイクリンは、経口摂取で吸収の良さ、皮膚への良好な組織移行性、長期投与の安全性が確立しており、創部の感染コントロールに有用である。また、抗菌作用とは独立した抗炎症作用を有するというユニークな特徴があり、良好な wound prepara-

tionに貢献したと考えられる。最終的には経口摂取困難となり内服もすべて中止したが、いずれの栄養素も細胞内での蓄積を事前に確保することで、終末期の症状改善に寄与できたと推察される。

本症例は高度な栄養障害をもつ難治性の重度褥瘡であったが、オーソモレキュラー医療の援用により老衰死の直前まで傷の改善を得ることができた。微量栄養の最適化は創傷治癒のポテンシャルを最大限に高めてくれる可能性があるとし唆された。



汐入ぱくクリニック
院長

新井 正晃 先生

【略歴】

- 2007年 3月 大阪市立大学 (現:大阪公立大学) 医学部 医学科 卒業
- 2007年 4月 社会福祉法人恩賜財団 大阪府済生会泉尾病院
- 2010年 1月 社会福祉法人生長会 ベルランド総合病院 放射線科
- 2012年 4月 大阪市立総合医療センター 放射線科
- 2013年 4月 社会福祉法人生長会 ベルランド総合病院 放射線科副医長
- 2013年 8月~ 東京都・神奈川県で 複数の在宅医療診療所に勤務
- 2016年 7月 汐入ぱくクリニック 開設
- 2021年 3月 医療法人社団ドミナントサウンド 設立 理事長就任

《A4M Longevity Fest 2024》



執筆：松村 浩道先生

鎌倉元氣クリニック 院長 / 点滴療法研究会 マスターズクラブ 副会長

何かと気ぜわしい師走の最中、アメリカはラスベガスで12月13日から15日まで盛大に開催された「American Academy of Anti Aging Medicine (A4M)」の会合に参加してきました。A4Mは、科学的根拠に基づくアンチエイジング医療の推進を目的として設立された非営利組織で、この分野では世界最大規模かつ最も影響力のある組織と評価されています。現在A4Mは、米国だけでなくヨーロッパ、アジア、中東など世界各地に活動を拡大していますが、毎年12月にラスベガスで開催されるイベントは近年「LONGEVITY FEST」と銘打たれ、1年の締めくりに相応しい「健康長寿の祭典」としての特別な催しであり、会を彩るブース出展は428企業にも上りました。



広大な企業ブースエリア

今回私は、コロナ禍の影響もあって2018年以来実に6年ぶりの参加となりました。所用のため最終日を待たずして帰国しなければなりませんでした。その分1日早く現地入りし、気の置けない仲間とアンテロープキャニオン観光を満喫しました。Windows PCのスクリーンセーバーにも採用された景観はまさに圧巻でしたが、こうした現地の観光も海外の学会に参加する醍醐味のひとつといって良いでしょう。

さて、肝心な講演についてですが、まずA4Mの朝はとにかく早く、毎日なんと午前7時30分から講演が始まります。3日間の会期中、いずれも午前中は大ホールにて30分～45分の講演が立て続けに行われるのですが、話し慣れた演者が映し出される大画面の映像は、さながらTED Talksを彷彿とさせます。私が聴講した2日間では、アンチエイジングの総論的な話から、ミトコンドリア活性、がん免疫療法、グリカン分析、ガレクチン-3、腸内環境と健康など多岐にわたる各論について、著名なスピーカーたちが熱弁を繰り広げました。



Dr. Joseph Puritaの講演



Dr. Levyと筆者

午前中の講演が一つの大会場で催されるのに対して、午後のレクチャーは3～6のセッションに分かれており、それぞれ別の会場で行われます。事前にA4Mの専用アプリで聴きたい講演の目星をつけておくのですが、魅力的な演題が同じ時間帯に複数重なることもしばしばで、その都度苦渋の選択を強いられることになります。なにせ午後のセッションでは3日間で実に93講演が行われたのですから、迷うのも無理からぬことでしょう。私はメチレーション、メラトニン、NAD+、C15飽和脂肪酸、GLP-1、VO2max、ホルモントテストなどの講演を聴講しましたが、特に印象的だったのがPhotoBioModulation (PBM)についてのDr. Joseph Puritaのレクチャーです。PBMは光を使った治療法の一つで、特定の波長の光を生体組織に照射することによって細胞の代謝や機能を調整・促進する技術ですが、今後更なる注目を集めることでしょう。

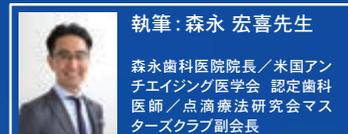


アンテロープキャニオンにて

会期中に柳澤会長の首領のもと開催された懇親会には各国の有志が集い、異国での愉快的な宴を満喫しました。強行日程ではありましたが、参加して良かったと心から思える忘れがたいイベントになりました。

「LONGEVITY FEST 2025」には、多くの会友の先生方と一緒にできたら嬉しく思います。

《A4M Longevity Fest 2024 ~SurviveからThrive with Energy~》



執筆：森永 宏喜先生

森永歯科医院院長 / 米国アンチエイジング医学会 認定歯科医師 / 点滴療法研究会 マスターズクラブ 副会長

研究会会員の先生方、新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。2024年も押し詰まった12月13～15日、米国ラスベガスで開催された「Longevity Fest 2024」に参加してきました。コロナ禍が明けて4年ぶりの参加となった昨年に続き、通算7回目の参加となります。今年も柳澤会長はもちろん松村副会長、他にも多くの会員の先生方、さらに台湾やフィリピンの先生方も参加されました。

アンチエイジング医学の最前線を探るこのイベントは、科学、臨床応用、そして哲学が融合する場であり、今年も多く新しい知見、知識のブラッシュアップが得られました。3日間のスケジュールは例年同様、午前中はメインホールで集中セッション、午後はテーマ別会場で多様な講演が行われました。またもう一つの見どころである企業出展は400社以上、1日ではとても回りきれない数です。製品展示や情報交換の機会が豊富に用意され、まさに「宝の山」状態。

今年は、研究会歯科セミナーをご担当頂いている加藤通子先生(大阪府ご開業)とともに、正式な会期に先立つ11日開催のプレカンファレンスからジョイン。参加費は別建てとなりますが、ヘルシーな朝食やブレイクも用意され充実した知識が得られる機会となりました。



Festの前日開催のpreconferenceは7時の朝食から始まり17時半まで12のレクチャーがビッシリ。3つのテーマから選択したのは「Biostacking Longevity」で、高気圧酸素療法、グルタチオン、NO、テロメラーゼの複合的アプローチ。途中2度のブレイクでは飲み物と生野菜が供された

大人気のKeynote Speaker

私が今回のFestで最も楽しみにしていたのが初日のKeynote Sessions、ハーバード大学教授で世界的ベストセラー「Life Span」の著者、そしてNMNブームの火付け役でもあるDavid A. Sinclair博士による基調講演でした。抜けきらない時差ボケを逆手にとって早起きし、午前7時の開場から間もなく駆けつけた私と友枝 亮先生(歯科会員、福岡市ご開業)は、前方の絶好の席を確保。結局2,000人以上が集まり、会場の熱気はいやが上にも高まります。

博士の講演は「老化を巻き戻す科学」という挑戦的なテーマでした。老化の根本原因とされるエピジェネティクス変化を標的とした治療法の可能性を説き、特にNAD+ブースターの研究動向に触れました。また、「NAD点滴治療にはまだ研究すべき課題がある」とのコメントは多くの医療関係者にとって重要な指針となりました。

もう一人のKeynote SpeakerであるSerena Poon氏は、スピリチュアルと栄養学を融合したアプローチを紹介。「健康は内面的な癒しから始まる」というメッセージを、栄養療法とREIKI(霊気)治療の実践例を通じて語りました。このスピリチュアルな要素が年々A4Mにおいて重視されていることは、アンチエイジング医学の新しい潮流を示していると感じます。

博士の知名度と人気は凄まじく、講演に続くお二人の対談終了後、演壇前には「生シンクレア(!)」に少しでも近づいて撮影しようとする聴衆が殺到。後に続くFounder Remarksを担当するA4M ChairmanのDr. Robert Goldmanも「Very popular!」と目を丸くしていました。



OST(山中因子)による細胞のリプログラミング(若返り)など、Fest初日のシンクレア博士による基調講演はこれからの抗老化医学を具体的に展望するものだった



新たなNAD+ブーストコンプレックス「Satori」。パラキサンチン、メチレンブルー、ナイアシンアミド、イチョウ葉、アルファGPCに加え、脳への血流を促進するいくつかのハーブ(バコバ、センテネラ、ホーリーバジル、ジャンカブシュビ、セラストス)を組み合わせたもの。「Satoriとは日本語か?どういう意味?」とブース担当者に逆質問され苦笑する場面も

科学と心の融合

今年のFestでは、Keynote Speakerに加えて14名のFeatured Speakerが招聘されて全体のテーマを形成していました。そのうちの一人、幼少時代にベトナムから両親と共にポートで脱出したという過去を持つDr. Kien Vuu(通称 Dr.V)による「心の健康と長寿」の講演が印象的でした。彼のテーマは、「Survive vs. Thrive」(生き残る vs. 繁栄する)という二つの選択肢の対比を軸に、意識的な行動がミトコンドリアの健康に与える影響を解説するもの。

彼は「エピミトジェニクス」という新しい概念を提唱し、感情や意識的な選択がミトコンドリアの最適化、ひいては皆が生き生きと人生を満喫する「Thriving State」の達成につながることを示しました。そして栄養、睡眠、運動、考え方、人間関係という五つの要素が統合され、ホリスティックな健康法が強調されました。

昨年はタイの仏教指導者(ChairmanのDr. Goldmanが師事)が招聘されましたが、今年はDr.Vにより医学的エビデンスに基づく心のあり方の効用が語られ、一般の医療従事者にとってより説得力が増し、身近なものとなったと思います。

NAD Boosterの新知見

ホルモン療法や肥満対策などはA4Mの「永遠の課題」といってよく、Festでも毎年のように重点的に情報提供がされます。しかしそれとは別に年ごとにフィーチャーされる栄養素や治療法があります。ですが近年それらに共通している点は「究極的には、いかにミトコンドリア機能を維持向上させるか」ということなのです。

たとえばプレカンファレンスとFest最終日に特集されたのは、先生方よくご存じのグルタチオンでした。これまで注目度の低かった放射線防護や電磁波対策への応用、内服や点滴だけでなく経皮吸収や舌下投与などの新しいアプローチが紹介され、多くの参加者が興味を示していました。血管拡張作用などが知られる一酸化窒素(NO)も同様に経皮吸収や内服製剤が多く出展されていました。

さらに目新しいものとしては、昨年より注目度が高まっているメチレンブルー(MB)に加え、カフェインの主



Festとpreconferenceの両方でNOのレクチャーを担当したDr. Bryanと。フッ素入り歯磨剤はNOの活性を下げるので好ましくないとの意見。「歯科での定期的な塗布は？」ときいたところ「カリエスリスクの高い患者に限るべき」との回答だった



歯科会員は私含め3名が参加。左から加藤通子先生、昨年に続き友枝亮先生、柳澤会長と私。医科会員、事務局、企業関係者含めると10名以上が参加

要な代謝産物であるパラキサンチン(paraxanthin)、低出力レーザーやLED光を用いて細胞代謝を活性化し、炎症を抑え、組織再生を促進するフォトバイオモジュレーション(PBM)を組み合わせるシナジー効果を生み出すアプローチを取り上げていた講演が少なからずあったのは特筆すべきだと思います。

まとめ

「Longevity Fest 2024」は、最新の科学的知見だけでなく、人生観や心の在り方といった哲学的なテーマも取り入れた非常に充実したカンファレンスでした。今年のテーマである「進化する長寿医療」は、アンチエイジング医学が目指す未来を示唆しています。科学とスピリチュアル、そして臨床応用が融合するこの場合は、医療者にとって欠かせない情報源であると再確認しました。

今年のFestは2025年12月12日~14日、例年通りラスベガスで開催です。最新の情報が得られるだけでなく、クリスマスシーズンの当地はとて華やかで、グルメやエンタメなど楽しみもいっぱい。次回は是非一緒に参りましょう！

さらに詳しい情報をお知らせするWebinarを2月14日に開催予定ですので、是非ご参加頂ければ嬉しいです。ご興味のある先生は是非ご参加下さい(OMDプログラム会員・現地参加者は無料、アーカイブあり)。



2月14日 AM報告会



今回一番驚いたのが、CBDの点滴をブースで受け付けていたこと。有料で149米ドル、30分で終了すること。非常に興味はあったが、旅先で受ける勇気は持てず。



血中水素飽和度2.0%が科学的に証明された水素吸入機

※慶應義塾大学医学部との共同研究/医学誌 ELMER PRESS に掲載された論文に基づく

広告

「水素吸入療法」と同じ血中水素飽和度を実現できる高品質モデル

水素吸入機 H2J11

圧倒的な耐久性能・長寿命・低ランニングコスト

水素発生デバイス寿命約50,000時間*
世界最高クラスのハイグレード電解セル搭載

- 一般的な電解セル寿命は500~3,000時間/ハイモデルで5,000時間といわれています。
- 毎日8時間ご利用の場合、約17年間電解セル交換が不要になる計算となります。
- *正しい使用方法でご利用頂いた場合、メーカー保証期間は1年間となります。

厳格な第三者認証機関による適合性試験クリア
EU規格・米国規格適合、安心の高品質モデル

- 医療機器・ペースメーカー等に影響を与えないようノイズ規格・静音性規格・安全性規格に適合。
- 静音性50dB以下(図書館内・閑静な住宅地レベル)
- 24時間・365日連続稼働可。



あんしん
かいてき



6~12ヵ月に一度の簡単メンテナンス
低ランニングコスト・低燃費

- フラッシングとクリーンバッグ交換だけの簡単メンテナンスで長寿命と超耐久性を保持。
- 15分程度のメンテナンスはご自身で実施できるのでランニングコストが軽減されます。
- 低燃費:精製水1Lで約60時間の水素発生/消費電力:140W

衛生的でストレスフリーな運用を実現
結露(水滴)防止機能搭載

- カニューレ内の結露(水滴)防止ドライヤー搭載。
- 結露(水滴)を気にすることなく、100%水素ガスを衛生的かつ安心して吸入頂けます。

科学的根拠に基づいた正しい水素吸入を実現

メーカー希望小売価格:242万円(税込)

- 会員様むけ特別価格・特別協賛品をご用意
- 医療機関様向けリース・レンタル・分割プランもございます

無料デモ機のお貸出実施中。
ぜひお問い合わせください。

株式会社ドクターズ・マン TEL 045-905-2330
info@doctorsman.com

メディカル事業部までお問い合わせください



高濃度ビタミンC点滴療法 認定医制度

認定医制度とは

点滴療法研究会では、国民に安心して高濃度ビタミンC点滴を受けていただくため、正しい知識を持った会員医師に認定医資格を設けています。現在、約750名の方が認定医資格を取得しております。
(2024年12月現在)



認定証を発行。
安心して患者様に
選ばれる医院に



当会が質を保証する認定証を発行。自院等でもご紹介いただけます。

※額縁は別売です。

クリニック検索で
上位表示されるから
集患効果アップ



当会のホームページにおけるクリニック検索でご紹介。検索時に優先的に表示されます。

受験案内 (年1回開催)

2025年12月7日(日)

■会場：東京

会員サイトの
認定医ページはこちら▶



資格

- マスターズクラブ会員であること
- ベーシックセミナーⅠの受講
- ベーシックセミナーⅡの受講
- 高濃度ビタミンC点滴療法認定医講習会の受講

※注意 マスターズクラブを退会すると認定医資格はなくなります。

他にも2種類の認定医制度をご用意しています。オンライン開催

先生のご都合に合わせて、いつでも受験可能になりました。

キレーション療法 認定医

オゾン療法 認定医

※事前学習が必須となります。

詳しくは上記認定医ページもしくはセミナー情報にてご確認ください。セミナー情報はこちら▶



点滴療法導入から定着への 3つのステップ

点滴療法をクリニックの定番メニューとして定着させるためには、先生やスタッフの知識・技術向上に加え、患者様への訴求強化も重要なポイント。点滴療法の導入から、患者様への認知拡大・集患まで、特に重要な3ステップと当会の提供サービスをご紹介します。是非ご活用ください！

STEP 01

正しい点滴療法を提供しよう

ベーシックセミナーを受講しましょう。

スタッフ教育サポートとして「点滴手技マニュアル」や「点滴手技動画」もオススメです。



STEP 02

患者様からの認知を高めよう

点滴療法研究会の
クリニック検索サイトに
情報を登録しましょう。



会員の
7割が
活用中!

【掲載条件】
ベーシックセミナーⅠ
受講済みで当会の会
員であること

ログインはこちら



患者様の半数以上が前もってクリニックをWEBで検索するというデータがあります。WEBの活用はクリニックを知ってもらう第一歩です。

年間検索数
8万回
以上

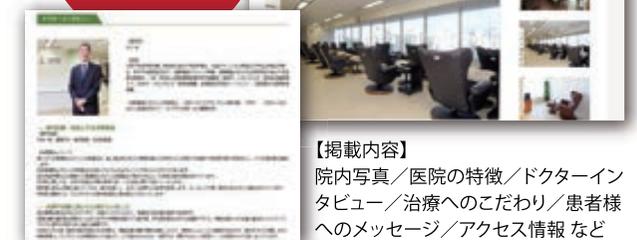
会員限定
無料
掲載

STEP 03

さらなる認知拡大を目指そう

詳細ページ作成で
さらに集患力を
高めましょう。(有料)

見つけて
もらいやすい!
検索上位
表示可能に



【掲載内容】
院内写真/医院の特徴/ドクターインタビュー/治療へのこだわり/患者様へのメッセージ/アクセス情報など

お申し込み
ご相談はこちら



興味をもった患者様を逃さないためにも、更に詳しい内容を掲載することは大切。院内の雰囲気や先生のごだわりを掲載することで、患者様がより安心して受診できるよう、後押しします。

制作費 45,000円 (税込)

掲載費 0円 ※掲載は会員期間中に限ります。

お申込・ご登録方法など、ご不明な点は事務局までお問い合わせください。

Mail: info@iv-therapy.jp TEL: 03-6277-3318

会員サービスのご案内

メールマガジンに
ご登録ください!

医学情報、柳澤会長からの動画をはじめ、
各種キャンペーンやお得な情報をお送りし
ております。お見逃しなく!
メールマガジンのご登録は無料です。

ログイン後
マイページより
ご登録ください!



会員サービス一覧

様々な会員サービスをご用意しています。
ぜひ、ご活用ください。

認定医制度

- ・高濃度ビタミンC点滴療法認定医
- ・キレーション療法認定医
- ・オゾン療法認定医

学習サポート

- ・症例・論文
- ・医学情報の提供
- ・会員専用Q&A
- ・動画学習
- ・セミナー優待
- ・学習コラム配信
- ・他学会連携

国際オソモレキュラー医学会
日本オソモレキュラー医学会
国際個別化医療学会

クリニック運営サポート

- ・クリニック検索一覧掲載
- ・クリニック詳細ページ
作成サービス
- ・点滴療法同意書ダウンロード
- ・リンク用バナー配布
- ・オンラインショップ
- ・書籍掲載
- ・会員証発行

クリニック運営サポート スタッフ教育・集患・販促強化

点滴療法の提供体制の構築から、集患や院内販促まで!
クリニックの運営をサポートする商品・サービスをご提供

スタッフ教育

先生方や医療スタッフ向けサポート教材

手技マニュアル



【全99ページ】
点滴バッグの準備から穿刺までの
一連の流れやコツを詳しくカラー
写真の図解で解説。

手技動画



※USB フラッシュ
メモリにて頒布

点滴療法をこれから導入する
先生や、スタッフの方を対象
に、高濃度ビタミン C25 g 点
滴の作成と手技の一連の流れ
やコツを解説。

- 穿刺のコツ・血管の選び方
- ミキシング・プライミングのコツ
- 点滴中のおこりやすいトラブル
- 点滴療法の質を上げるコツ

集患強化

クリニック検索サイト

クリニック検索掲載 & 詳細ページ作成

自院の認知拡大・集患に!



年間検索回数
80,000 回以上!

当会ウェブサイトのクリニック
検索一覧にて自院の情報を詳し
く掲載。点滴療法を受けたい患
者様への強力な訴求ツール。

院内販促

待合室などで患者様の興味と理解を喚起!

リーフレット

(+ 掲示用A3ポスターつき)



点滴療法の興味と理解を喚起!

- 全6種 [高濃度ビタミンC点滴療法(がん治
療版; 美容・アンチエイジング版) / マイヤーズ
カクテル点滴療法 / 歯科医院における点滴療
法 / グルタチオン点滴療法(美容版; パーキンソン
病版)]
- ゴム印・シール貼付スペースあり

院内販促動画

デジタルサイネージ



- 高濃度ビタミンC点滴療法
(がん治療版)
- 高濃度ビタミンC点滴療法
(美容・アンチエイジング版)
- マイヤーズカクテル点滴療法
- 歯科医院における点滴療法
- グルタチオン点滴療法
(美容版)

会員限定 オンラインショップにて販売中!



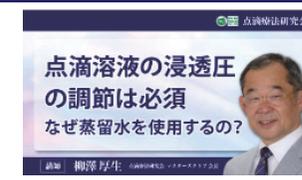
学習サポート

動画学習

スタッフ教育にもオススメ!

無料

充実の
セルフラーニング
コンテンツ



動画サイトは
こちら



学習サポート

症例・論文

会員サイトでは点滴治療に関する症
例やエビデンスを紹介しております。

閲覧には、
ログインが
必要です。



「症例から学ぶ」 掲載例

- 「高濃度ビタミンC点滴療法 高濃度ビタミンC点滴療法が奏効した2症例」 健康増進クリニック 院長 水上 治 先生
- 「オゾン療法 線維筋痛症、気分障害、不安障害」 鎌倉元氣クリニック 院長 松村 浩道先生

「論文から学ぶ」 掲載例

- 「高濃度ビタミンC点滴療法に関連する代表的な基礎研究」
Ascorbate regulates haematopoietic stem cell function and leukaemogenesis *Nature*(2017) doi:10.1038/nature23876
- 「グルタチオン点滴療法に関連する論文」 Anti-cancer effect of pharmacologic ascorbate and its interaction with
supplementary parenteral glutathione in preclinical cancer models. *Free Radic Biol Med.* 2011 Aug 1;51(3):681-7

点滴療法研究会

動画学習サイト

スキマ時間のセルフラーニングに！



2024年に大幅リニューアル！新しく生まれ変わった動画サイトをチェック！



40時間以上のコンテンツを
会員限定で無料で学べます。

2024年7月時点でのコンテンツボリューム

点滴ワンポイント 34動画 約6時間

特別セミナー 10セミナー 約40時間

※直近3年の特別セミナー動画・一部動画は含まれません。

無料動画の大幅拡充！

過去の特別セミナー動画を大量に追加しました。多彩なコンテンツをいつでもどこでもお楽しみいただけます。

使いやすさを改善！

動画サイトを直感的で分かりやすいデザインに改良。視認性が改善したことにより快適な視聴環境をお届けします。

新着動画の販売を開始！

直近3年で実施された特別セミナーはオンラインショップにてご購入いただけます。アップデートされた医学情報を得ることが出来ます。

視聴方法
3 STEP

- ①動画サイトにアクセス
- ②会員ログイン
- ③動画を選択



〈動画サイト〉

無料セミナー動画例



3レクチャー 各60分



4レクチャー 各60分



5レクチャー 各40分



5レクチャー 各40分



3レクチャー 各60分



5レクチャー 各60分

最新の医学情報が学べる！

直近3年間のセミナー動画はオンラインショップで！



開催年	2023年	2024年	2024年
セミナー タイトル	最強のアンチエイジング医学	現場から学ぶ点滴療法の“技”	最強のアンチエイジング医学 2024へ導入と実践
講演 内容	L1:“ネオエイジング(NEO AGING)” GHRP-2/NMNを用いた老化制御と、その臨床応用/問題点を語る 宇野 克明(東京MIT) L2:臨床における総合ホルモン検査と治療 上符 正志(銀座上符メディカルクリニック) L3:16時間断食 青木 厚(あおき内科・さいたま糖尿病クリニック) L4:私が通いたいと思う理想の美容クリニック 高須 英津子(銀座高須クリニック)	L1:月経血幹細胞の点滴療法 伊沢 博美(神宮外苑WomanLifeClinic) L2:各種点滴への水素ガス混合による成分保護作用と臨床 辻 直樹(辻クリニック) L3:NAD+点滴療法の実際 松澤 宗範(青山メディカルクリニック) L4:幹細胞上清液の臨床での使い分け 内藤 洋介(表参道FMクリニック) L5:高濃度ビタミンCとマイヤーズカクテル点滴の実際 田中 芳夫(いすみ動物病院)	L1:人生を二度三度楽しめる細胞復活法 姫野 友美(ひめのとみクリニック) L2:NMN点滴とNAD+点滴について(臨床) 青木 竜弥(銀座予防医療クリニック) L3:幹細胞培養上清療法 野村 紘史(N2クリニックホテル 橋山荘東京院) L4:ヒト臍帯ウォートンゼリー(WJ)幹細胞由来エクソソームの臨床 陰山 泰成(東海大学医学部客員教授)
価格(税込)	33,000円	22,000円	33,000円

新発売

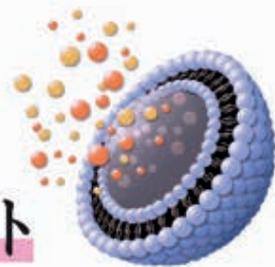
LipoVit GSH+

医療機関専売品 リポビットGSHプラス

リポソーム白玉成分200mg/1袋あたり 30日分



吸収率に着目した
リポソームサプリメント



benebio

販売者 ベネビオ株式会社

〒163-0532 東京都新宿区西新宿1丁目26-2 新宿野村ビル32階

TEL : 03-6804-6046 (10:00~18:00 土・日・祝休)

MAIL : support@lipovit.jp



点滴療法研究会コラム

院内販促動画



デジタルサイネージを活用した院内販促術

点滴療法の集客に苦労している、というお声をよくお聞きます。

WEBなどによる外部への告知は新患の獲得において重要ですが、まずは既存の患者様に訴求できる『院内販促』を行うことで、非常に有効かつ効率的に点滴療法の訴求が可能です。

クリニックの施術メニューをすべて把握している患者様はいらっしゃいません。また、患者様が自発的に『点滴療法は自分に関係がある』と認識しない限り、施術メニュー上に記載があっても認知しない・興味を持たないというケースが多々あります。また、せっかくポスターなどを掲示しても、「視界に入っているのに気付かない」ということが往々にしてあります。

そこで、今回おすすめするのが、デジタルサイネージ(院内動画)を活用した販促術です。動画の広告は、施術メニューやポスター等とは違い、「意識なくとも強制的に視界に入ってくる」という強制視認性に優れています。皆さんも、電車やタクシー内で、意識せずになんとなくビジョン広告を見てしまう経験をし



たことがあるのではないのでしょうか？

院内動画を活用することは、一般企業広告だけでなく、医療機関でも広く普及している取り組みです。待合室などにディスプレイを設置し、患者様が診察を待つ間に提供メニューの情報や健康に関する情報を提供することができます。ぼーっと時間を費やしがちな待合室では、目に留まりやすい動画というツールが非常に効果的なのです。

点滴療法に関しても同様に、院内動画で患者様の認知を促し、先生やスタッフの手を煩わすことなく興味・関心を喚起することが可能になります。また、繰り返し見てもらうことで、患者様の印象にも残りやすくなります。

患者様に対し、新たな治療法などの有益な提案をしっかりと到達させることは先生方への信頼度向上にもつながります。「ここに来れば悩みが解決できる」、「困ったらこの先生に相談しよう」と患者様に感じてもらえることができれば、今後のリピート率向上にも繋がります。

点滴療法研究会では会員クリニックにおける院内販促にご活用いただける、主要な点滴療法の院内販促用動画を5種類ご用意しています。また、動画にクリニック名を入れるカスタマイズも可能です。クリニック様の導入状況に応じて、ぜひ活用ください。

点滴療法研究会販売中 デジタルサイネージ

必須 点滴療法とは？(概要説明)

+

- 選択パート
- ①高濃度ビタミンC点滴療法(がん)
 - ②高濃度ビタミンC点滴療法(美容)
 - ③マイヤーズカクテル版
 - ④歯科クリニック向け点滴療法
 - ⑤グルタチオン点滴療法

下記、オンラインショップ内にてサンプル動画を視聴できます。是非ご覧ください。



- ・点滴療法の希望者が増えない
- ・施術メニューを詳しく説明する時間がない
- ・点滴のメリットを患者様に魅力的に伝えたい



- ・点滴のメリットからQ&Aまで、分かりやすく解説
- ・字幕付き・音声無しで、どこでも流せる
- ・導入している点滴の種類に合わせて選べる5種

点滴療法研究会マスターズクラブ会員限定！
販促に役立つツールをご用意しています

オンラインショップ ▶
※ログインが必要です。



認定医講習会・試験

※講習会のみ受講も可能です。

点滴療法研究会では、真摯に点滴療法を学び、正しい方法で患者様に提供する医師のために、3種類の点滴療法認定医 (Master of IVC Therapy) 制度を設け、マスターズクラブ会員医師の質の保証としています。

WEB 開催

通年 動画で学ぶオゾン療法のすべて/
オゾン療法認定医試験

オゾン療法は採血した血液と医療用オゾンガスを混合し、再び点滴で体内に戻す点滴療法です。アンチエイジングや免疫力アップなど、様々な目的で用いられています。本講座を受講し、認定医試験に合格後、症例を提出することにより認定医取得が可能となります。

【講師】
松村 浩道 先生 (点滴療法研究会マスターズクラブ 副会長 / 鎌倉元氣クリニック 院長)
柳澤 厚生 先生 (点滴療法研究会マスターズクラブ 会長)

WEB 開催

通年 動画で学ぶキレーション療法のすべて/
キレーション療法認定医試験

キレーション療法は心臓病や動脈硬化の治療、環境汚染や食品添加物に対するデトックス治療として注目されている点滴療法です。本講習の受講及び教材 (動画付) にて事前学習することにより認定試験の受験資格が得られます。

【講師】
上符 正志 先生 (点滴療法研究会マスターズクラブ 事務局長 / 銀座上符メディカルクリニック 院長)
澤登 雅一 先生 (三番町でぎげんクリニック 院長)

会場 (東京)

12/7 **高濃度ビタミンC点滴療法認定医講習会/認定医試験**

本講習会でビタミンCの基礎知識、リオルダンIVCプロトコル、他の併用療法など大切な基本・応用を学びます。

※受験資格: 点滴療法研究会マスターズクラブ会員
ベーシックセミナーIIの受講
当日の認定医講習会受講

【講師】
石神 昭人 先生 (東京都健康長寿医療センター研究所 副所長)
澤登 雅一 先生 (三番町でぎげんクリニック 院長)
柳澤 厚生 先生 (点滴療法研究会マスターズクラブ 会長)
前田 陽子 先生 (三番町でぎげんクリニック)

各種セミナー

ベーシックセミナー I

点滴の基本「高濃度ビタミンC点滴療法」「グルタチオン点滴」「マイヤーズカクテル」など点滴療法の具体的な処方と注意点を詳しく解説。セミナー受講後、点滴療法研究会マスターズクラブへご入会いただけますと、入会特典として「Q&Aサポート窓口」にて、点滴療法を導入できるようになるまでサポートします。

マスターズクラブ会員限定、WEB受講が可能です

2/23 **東京会場**

【講師】
柳澤 厚生 先生 (点滴療法研究会マスターズクラブ 会長)
熊谷 和浩 先生 (フジテレビ湾岸スタジオビル診療所 院長)

5/25 **東京会場**

【講師】
柳澤 厚生 先生 (点滴療法研究会マスターズクラブ 会長)
喜多村 邦弘 先生 (喜多村クリニック 院長)

スペシャルベーシックセミナー

7/27 **大阪会場**

通常の内容に加え、特別ゲストとして弁護士の先生をお招きし、自費診療に関する法的ノウハウを学ぶ貴重な機会をご提供します。

【講師】
柳澤 厚生 先生 (点滴療法研究会マスターズクラブ 会長)
松村 浩道 先生 (点滴療法研究会マスターズクラブ 副会長 / 鎌倉元氣クリニック 院長)
入倉 進 先生 (堂島コネクト法律事務所 代表弁護士)

10/12 **東京会場**

【講師】
柳澤 厚生 先生 (点滴療法研究会マスターズクラブ 会長)
松村 浩道 先生 (点滴療法研究会マスターズクラブ 副会長 / 鎌倉元氣クリニック 院長)

ベーシックセミナー II

Detox・IGG、栄養療法、プラセンタ、にんにく注射、αリポ酸、幹細胞培養上清、エクソソーム、NMNなど、最新の点滴療法を関連する栄養療法と共に深く学びます。また、自費診療を成功するためにぜひ実践してほしい環境作りの内容や、点滴療法のメニューや料金設定、集患、経営の秘訣、スタッフ教育など、現場でなければわからない苦労や問題点、工夫や解決法など自費診療クリニック運営に役立つ情報満載のプログラムです。

マスターズクラブ会員限定、WEB受講が可能です

6/29 **東京会場**

10/13 **東京会場**

【講師】
柳澤 厚生 先生 (点滴療法研究会マスターズクラブ 会長)
上符 正志 先生 (点滴療法研究会マスターズクラブ 事務局長 / 銀座上符メディカルクリニック 院長)
前田 陽子 先生 (三番町でぎげんクリニック)

点滴療法研究会 特別セミナー

1/26 **点滴療法研究会 新春フォーラム 2025 東京会場**

統合医療の最前線でご活躍されている「点滴療法研究会」ボードメンバー、会員医師を講師にお迎えし、最新の知見や実践的な情報をお届けする特別なフォーラムを開催いたします。フォーラムでは、日々の診療に役立つ具体的なノウハウから、最先端の研究情報まで幅広い内容をお届けします。

【講師】
松村 浩道 先生 (点滴療法研究会マスターズクラブ 副会長 / 鎌倉元氣クリニック 院長)
上符 正志 先生 (点滴療法研究会マスターズクラブ 事務局長 / 銀座上符メディカルクリニック 院長)
澤登 雅一 先生 (三番町でぎげんクリニック 院長)
田中 善 先生 (医療法人仁善会 田中クリニック 理事長・院長)
伊藤 信久 先生 (グレースメディカルクリニック 院長)

9/28 ※詳しい内容は決まり次第、ウェブサイトにてお知らせいたします。

3/16 **<点滴療法研究会 Presents> 最強のアンチエイジング医学 2025 東京会場**

日本の最新医療を牽引する5つの団体が初集結！
点滴療法研究会/日本オーソモレキュラー医学会/日本臨床培養上清研究会/日本先制臨床医学会/日本美容内科学会
幹細胞培養上清治療の実践的なコツや国内外の最新動向、マイクロバイオームと酸化を取り入れたがん治療の新たな可能性、GLP-1ダイエット『リベルサス』の具体的な活用法、そしてビタミンAが切り開くアンチエイジング可能性をご紹介します。次世代アンチエイジングに向けた秘訣が満載です。

【講師】
柳澤 厚生 先生 (点滴療法研究会マスターズクラブ 会長)
溝口 徹 先生 (みぞぐちクリニック 院長)
青木 晃 先生 (一般社団法人 日本美容内科学会 理事長)
野村 紘史 先生 (N2 クリニック ホテル椿山荘東京院 院長)
萬 憲彰 先生 (医療法人医新会 よろずクリニック 院長)

地方フォーラム

マスターズクラブ会員の先生方が臨床現場での症例や治療などを発表していただきます。

【講師】
柳澤 厚生 先生 (点滴療法研究会マスターズクラブ 会長)
城谷 昌彦 先生 (ルークス芦屋クリニック 院長)
石黒 伸 先生 (アクアメディカルクリニック 院長)
加藤 哲 先生 (医療法人明新会かとう歯科医院 KDC インプラント矯正センター所長)
陰山 泰成 先生 (東海大学医学部客員教授 / 高輪クリニックグループ代表)

7/26 **PM 関西フォーラム (大阪)**

プライベートセミナー 「点滴療法で実現する クリニック成長戦略」

会員限定

患者満足度向上と収益アップを目指して、明日から実践できるノウハウをお伝えし、現場における導入から定着までの道筋をクリアに描きます。【10名限定】のプライベートセミナーだからこそ実現する濃密で深い学びをご提供。後日フォローアップとして、柳澤会長によるマンツーマンのオンラインコンサルティングも実施。個別の課題に寄り添い、より効果的なアプローチを提案します。

【講師】
● 3/30 (医師、歯科医師、スタッフ限定)
柳澤 厚生 先生 (点滴療法研究会マスターズクラブ 会長)
● 10/26 (歯科医師、スタッフ限定)
柳澤 厚生 先生 (点滴療法研究会マスターズクラブ 会長)
森永 宏喜 先生 (点滴療法研究会マスターズクラブ 副会長 / 森永歯科医院 院長)

3/30 **10/26** **東京会場**

歯科医師のための点滴療法 臨床現場への導入と定着の秘訣

歯科治療における点滴療法の必要性と可能性、明日から使えるノウハウを具体的に解説し、現場への落とし込み「導入」と「定着」を目的とします。また、栄養療法・点滴療法のコンビネーションによるメリットについても解説します。

【講師】
森永 宏喜 先生 (点滴療法研究会マスターズクラブ 副会長 / 森永歯科医院 院長)
加藤 通子 先生 (医療法人明新会理事長 かとう歯科医院 院長)

3・6・8・10月 WEB 開催

どうぶつへの点滴療法・栄養療法を臨床から学ぶ

どうぶつへの栄養点滴、CBDオイルの基礎や治療法、予防や治療に活用できるオーソモレキュラー療法を詳しく解説します。

【講師】
廣田 順子 先生 (アリスどうぶつクリニック 院長)

通年開催 (WEB)

会員限定 点滴療法の基本実技講習会 (入門編)

「もうはずさない！血管確保の実際」

鎌倉元氣クリニックにて、高濃度ビタミンC点滴25gの前準備・セッティング・穿刺・抜針までの基本手技について学ぶハンズオン講習会です。

【講師】
柳澤 厚生 先生 (点滴療法研究会マスターズクラブ 会長)
山口 かおる 師長 (鎌倉元氣クリニック 看護師長)

6/22 **11/30** **神奈川県鎌倉市**



アークレイマーケティング株式会社

ポケットケムVCは自己血糖測定器と全く同じ手順で簡単に血中のビタミンC相当値を得ることが可能です。 TEL.050-5527-7700



株式会社イムダイン

栄養補助食品の製造、販売。水素・酵素・声のサプリメントなどの展示。 TEL.03-5467-6284



大里研究所

当所開発のFPPIは抗酸化能を持ち、ATP産生・免疫機能改善等の特許を有するパパイア発酵食品です。 TEL.058-534-3830



株式会社三和製薬

臨床試験中の幹細胞由来のエクソソームFDをご提供いたします。 TEL.03-6228-3516



株式会社デトックス

治療製剤とサプリメントを提供しています。検査はがん、自閉症、精神疾患、認知症、免疫関連と幅広くカバー。 TEL.03-5876-4511



株式会社ビーアンドエス・コーポレーション

◆医師がすすめる乳酸菌サプリ『アルベックス』 ◆認知機能改善サプリ『プラズマローゲン』 TEL.03-3288-0068



株式会社アイシン

肌を土台からケアし、点滴しながら施術ができる美容機器。非接触施術で刺激がなく、安心安全です。 TEL.0566-62-8130



Wismettacフーズ株式会社 ナチュレメディカ事業グループ

ナチュレメディカサプリメントは科学的根拠・機能性にこだわり、柳澤先生監修のIVCシリーズ等がございます。 TEL.03-6870-2006



オーガニックサイエンス株式会社

日本のマグネシウム研究をリードし、100%天然成分に拘ったマグバームやマグリボ等の開発・製造を行う。 TEL.0800-222-0986



株式会社 すかい21

瞬時にわかる計測システム「Scanアナライザー」や「MDケイ素」など測定からソリューションまで幅広く取扱い。 TEL.098-887-2012



東栄新薬株式会社

露地栽培アガリクスKA21の研究開発会社。免疫、育毛、口腔・腔・腸カンジダ対策サプリの無料サンプル進呈中。 TEL.0422-26-7310



株式会社First・Health・Japan

USBioTek社/NutriPATH日本総代理店、海外調剤薬局配合剤、G6PD迅速定量検査、ビタミンD迅速検査等 TEL.0463-20-9070



株式会社アイダンプロダクツジャパン

柳澤先生で監修のミトコンドリア活性サプリMITO ATPの取扱いをしております。 TEL.03-6811-1318



株式会社ウェルハート

海外の医薬品や医療機器の輸入に係る手続きの代行、調達、輸送時の商品管理等のサポートを行います。 TEL.03-6812-5501



有限会社クマック

10万種類の物質測定で最も自然免疫活性率が高いぬか床由来の有用物質を発見。東京大学病院売店取扱中です。 TEL.092-406-7168



株式会社ステムセルテック

歯髄・脂肪・臍帯由来の幹細胞培養上清液の原料販売、製品開発。美容～難病治療までご使用いただけます。 TEL.03-6459-3316



株式会社ドクターズ・マン

水素を「正しく、安全に、適正濃度」で吸入できる水素吸入機。無料デモ機お貸出し中。是非お試しください。 TEL.045-905-2330



ベネビオ株式会社

独自のリポソーム技術を用いた国内製造のリポソームサプリメントシリーズ『リポビット』を販売しています。 TEL.03-6804-6046



愛知電子工業株式会社

血管の状態を簡単に測定でき、状態を改善させるシステムを提供します。 TEL.052-835-0055



株式会社AOBメディカル

1. 浄化濃縮幹細胞培養上清の販売 2. グルタチオンの販売 (600mg/1V) 3. アンピタ注射液の販売など TEL.03-6427-7785



有限会社クレアラボジャパン

米国では50年以上も医師に活用されている、多菌種混合のプロバイオティクスサプリメントを提供しております。 TEL.045-534-9518



株式会社スピック

Lypo-Cは、微小な脂質カプセルである「リポソーム」に有用成分を閉じ込めて、からだのすみずみまで適切に届けます。 TEL.0467-24-1045



株式会社DORIS

「NEO AGING」これまでの老化対策「抗老化/アンチエイジング」に新たなテクノロジーが加わりました。 TEL.03-3564-1550



株式会社ヘリックスジャパン

排出量トップクラス1000ml分・「水素吸入療法用」本格機種。デザイン性は美容医療系にも最適！ TEL.03-3234-8000



株式会社アルガルバイオ

アルガルバイオは、東京大学における20年以上の研究を基に、新しい機能性クロレラを選出しました。 TEL.04-7138-6207



NADクリニック

NADクリニックのNAD+関連製品の販売 ■NAD+点滴 ■NAD+サプリメント TEL.03-4214-2020



株式会社 玄米酵素

1971年創業。玄米を麹菌で発酵した自然派サプリ。ビタミン、ミネラル、食物繊維、抗酸化物質が豊富。 TEL.011-736-2345



株式会社SOPHIA

ポストバイオティクスという乳酸菌やビフィズ菌の代謝産物の腸活サプリ。腸と免疫のサポートをします。 TEL.03-6276-1551



一般社団法人日本オーソモレキュラー医学会

正しい栄養療法の理解と認知を広げるためにWebメディアで情報を発信するとともにセミナーを開催。 TEL.03-6821-1461



株式会社Mirai Resort

臨床培養上清安全性審査委員会 認定の「Dr.歯髄幹細胞上清液」 TEL.03-6778-8696



アンブロシア株式会社

各種検査(遅延型フードアレルギー/リーキーガット/有害金属/副腎ストレス/SIBO/ビタミンD/ホルモン) TEL.044-299-7946



一般社団法人 NMN医療研究会

一般社団法人NMN医療研究会 NMN点滴研究用試薬 TEL.03-6263-0152



医療法人社団 THE CLINIC Institute AZACLI麻布クリニック

最先端の再生医療に特化したエイジング治療クリニック「AZACLI」に併設された細胞加工施設です。



第一産業株式会社

九州大学・昭和大学歯学部・日本歯科大学との共同研究を基に開発した、口腔内専用のパワーフォコイダンマウスジェルCG TEL.06-6131-0370



日本ダグラスラボラトリーズ株式会社

アメリカ製医療用サプリメント輸入代理店。1本からの卸、小ロットOEM、オリジナル商品製造、分包装など。 TEL.03-5530-2212



株式会社LINK

ヨウ素製剤に関する臨床・研究の情報収集、他学会・団体との交流・親交を深め知識向上を目的とした講習会・学術活動を実施。 TEL.03-6417-1920



株式会社医道メディカル

■臍帯由来エクソソーム関連商品開発、販売事業 ■創業事業 ■検査受託事業 ■有用微生物サプリメント TEL.03-6266-0071



株式会社MSS

医師向けシェア№1のMSSサプリメントは、「医師の使用に耐えうる性能と品質」をお約束します。 TEL.03-5366-0208



株式会社サルベストロールジャパン

がん治療を目的とした医療機関向けサプリメント・サルベストロールプラチナム2000を販売。 TEL.03-6450-2406



共同購入VC受注代行センター (有限会社ディスインターナショナル)

Mylan社ビタミンC製剤・Woerweg社αリボ酸製剤の受注窓口として、受注業務を代行しています。 TEL.03-6300-0152



株式会社 ニュートリション・アクト

食べて幹細胞を活性化!リバースエイジングを実現するサプリメント『ヒフワンシステムプロ』2024年新発売 TEL.03-3538-5811



一般社団法人 臨床水素治療研究会

水素点滴を用いた各種疾病の治療や予防効果の調査研究、水素治療における専門的な知識向上を目的としています。 TEL.03-3221-6313